

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	272300807
法人名	社会福祉法人北光会
事業所名	あずみ野グループホーム
所在地 (電話番号)	〒038-0241 青森県南津軽郡大鰐町鱒石字浅瀬淵35-5 (電話) 0172-49-1133

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成20年8月30日	評価確定日	平成20年11月6日

【情報提供票より】(平成20年8月11日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年10月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	14人, 非常勤 1人, 常勤換算 14人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋建て 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要(8月11日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	0 名	要介護2	3 名		
要介護3	11 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.9 歳	最低	75 歳	最高	92 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	町立大鰐病院、小山内医院、黎明郷リハビリテーション病院、さとうデンタルクリニック
---------	--

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ジャズコンサートや歌謡ショーなども行っているほど大型のデイケアを隣に併設しており、地域住民などを中心に外部との交流をしたり、またホームページも開設したりして施設内の活動内容を公開している。他にも童謡を唄う会の方々を招くなど「開かれた福祉施設」というのが最大の特徴である。</p>
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価において取り組みが望まれていた町内会との交流を始めたり、法人や施設内の会合などでも虐待などの議論や研修を行ったりと、改善課題に前向きに取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>サービス面や施設内の有事対応については話し合いも成されるようになり、課題克服への前向きな対応が見られる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回定期的開催され、利用者、ご家族、民生委員、福祉課、包括支援センターなどたくさんの参加者のもと、色々な議題で意見が交わされている。積極的に地域と交流しようとする意欲が感じられる。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>利用者の施設での生活、様子を担当職員の手紙、広報誌、金銭出納帳を入れ毎月送付している。また面会時には要望、意見を伺ったりと吸い上げる努力もみられる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>キャラバンメイトの活動として養成研修に参加申し込みするなど認知症への理解を得る為の努力がみえる。また地域交流も積極的に行われ、法人でのお祭りには近隣の方も多く訪れ、楽しまれていた。最近では回覧板も回ってくるようになり地域との連携がみられる。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「住み慣れた町で、自分のことをよく知っている人たちに囲まれて、自分らしく生きる」という事業所独自の理念が作り上げられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	グループホーム内に理念を掲示し、広報誌やパンフレットにも盛り込まれている。毎朝の理念の唱和や会議で話し合うなど職員全員で共有するための取り組みが成されている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	キャラバンメイトの活動として、町内だけでなく近隣市町村にも出向いて積極的な活動をしている。また、法人内で祭りを実施して近隣住民との交流をしたり、小学校と介護の勉強会をしたりして、地域交流も盛んである。最近、町内会との交流も始め、回覧版がまわってくるなど地域交流に対して前向きな姿勢も伺える。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価を通じ課題克服に対して職員一丸となった前向きな姿勢が見られる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1回定期的に開催され、利用者、ご家族、民生委員、福祉課、包括支援センターなどたくさんの参加者のもと、色々な議題で意見が交わされている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町が主催する介護支援専門員の会議などを中心に、町の社会福祉協議会が主催する研修・講習にも積極的に出席するなど、市町村とともにサービスの質の向上に前向きな取り組みが伺える。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>町の社会福祉協議会や包括支援センターが主催する権利擁護の研修にも参加して、その伝達もなされ、権利擁護に対する職員間の理解が伺える。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待の講習・研修に参加して、その伝達もなされ、さらには会合などで活発な議論が行われるなど一定の取り組みが伺える。</p>		<p>虐待防止マニュアルを作成することで職員間の意思統一や、事例検討などを行うことでよりいっそうの理解が望まれる。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書でサービスの説明などを十分に行っている。</p>		<p>重要事項説明書で代替してはいるが、契約書が作成されていないため、契約書の作成が望まれる。</p>
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>金銭出納の報告や、行事で撮った写真、担当職員の手紙など、家族に定期的な報告がしっかり成されている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱の設置や、家族報告時にご意見・ご要望を伺ったりするなど、運営の反映もしている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>同法人の他施設と年度替りに職員の人事異動があったりするが、異動する2～3ヶ月前に引き継ぎ準備をするなど、職員が代わることに對して最小限のダメージにとどまるような工夫が成されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	隣のデイケアと合同で新人研修を行ったり、社会福祉協議会などが行われるスキルアップ研修などにも新人も積極的に参加させるなど、新人育成にも積極的な姿勢が見受けられる。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町のケアマネの会議を中心に、そこからネットワーク構築を行って他のグループホームとも相互交流して親密な関係を構築している。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	馴染みの関係が出来るように、入所前からデイケア利用時にグループホームへ遊びに来てもらったり、職員が入居前にご自宅を訪問したりするなど工夫をしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	その日のおかずを職員と一緒につくったり、後片付けや菜園作り、草取り、針仕事を職員とともにするなど、職員と喜怒哀楽を共にしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自宅で愛用していた食器や家財道具の持込を認めたり、趣向を尊重して、食事の支度や片付け、針仕事をしてもらったりなど、本人の意向・趣向の尊重が見られる。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月一回の業務会議やカンファレンスも活発に議論を行っており、その記録も職員が目を通し易いところに保管し、チーム化すべく施策を施している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	業務会議やカンファレンスの他に、急な介護度の上昇など必要に応じて介護計画の見直しのための検討会を開催するなど、見直しも積極的に取り組んでいる。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接しているデイケアも利用出来る体制もあり、重度化に伴い必要に応じて機械浴を行うなどデイケアとの話し合いがもたれており、柔軟な対応が出来る。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	その人のかかりつけ医を尊重し、町内はもちろん弘前市内や隣の黒石市の病院などと本人の希望に沿う通院を支援している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在のところはないが、利用者が重度化した場合はデイケアの機械浴の利用なども想定しており、重度化した対応も取り組んでいる。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	同意書を取るなど、本人のプライバシーを損なわないような取り組みをしている。		不特定多数の人が見れるホームページや広報誌上で個人を特定出来るようなアングルで写真を撮ったものを掲載しないようにしたり、またインターネット上で不特定多数の人が気軽に写真をダウンロード出来るようになっているので、ダウンロード防止策を講じるなど、一定の個人情報保護策を講じることが望まれる。
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自宅の近所までドライブしたり、日課の針仕事や散歩などにも付き合うなど、その人らしい暮らしぶりを尊重し、希望に沿った支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>嫌いなものを出さなかったり、糖尿病を患っている人には栄養面を考慮しながらも食事を楽しめるように好きなものを出したりして配慮している。片付けや食事支度も一緒にするなどADL(日常生活動作)の低下予防の支援も行っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>A棟の浴槽が広いので、本人が望めばB棟の利用者でもA棟の浴槽を利用できたり、希望によっては夏の発汗時にシャワー浴や足浴が出来るような対応を行っている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>針仕事や食事の支度、製作、食事準備など本人が望む趣向が出来たり、ドライブや童謡を唄う会の方を招いて利用者で童謡を唄ったり、デイ利用者と交流をして役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>夏には弘前・黒石ねぶたを見たり、買い物に出かけたり、利用者の自宅近くにドライブに行ったりするなど外出支援を行っている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>基本的には身体拘束は行わないことにしているが、身体拘束に関する研修や、会議時に話し合い、ケアに取り組んでいる。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>夜間時以外、センサーを取り付けしたり、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>夜間想定 of 訓練を年一回、昼間想定 of 法人合同訓練を年二回、消防団との訓練も行っている。また、施設にAEDを設置しており、弘前消防署主催の救命救急研修も定期的に行っている。</p>		<p>町内会との交流が始まったばかりなため、今後は災害時における関係強化が望まれる。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>デイケアの栄養士が作成し、その人に応じた栄養バランスを考えた献立の作成をしている。水分補給は一日あたり1000CCぐらいを目標に心がけている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症の研修に行ったり、マニュアルを作成するなどをして、対策を講じている。また、施設の手洗い場全てや風呂場などに手の洗い方や消毒液を設置するなど、感染症予防策の徹底ぶりが見受けられる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
		居心地のよい共用空間づくり			
34	78	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	太陽光をふんだんに取り入れる建築構造になっており、また居室入口には四季折々の製作物(訪問時、金魚ねぶた)が飾ってある。また、共用スペースもふんだんにあり、利用者が各々快適な生活を過ごしているのが確認出来る。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅に居た時に使っていた茶碗や家財道具、家族の写真や製作時に作った本人が書いた習字などが飾ってあったりと、居心地よく過ごせる居室の配慮が成されている。		

 は、重点項目。